



胡桃沢宏行氏

松本商議所

専務理事に胡桃沢氏

県テクノ財団
事務局 長

民間出身者起用へ

松本商工会議所の井上保会頭は四日までに、空席となっていた専務理事に、県テクノ財団事務局長の胡桃沢宏行氏(六三)を起用する

意向を固めた。二十七日に開かれる常議員会と臨時議員総会で承認されれば、九月に着任する。

胡桃沢氏は松本深志高校から信州大学工学部精密工学科に進み、卒業後は大日本印刷を経て昭和四十五年に信州精機(現セイコーエプソン)に入社した。六十二年から八年間はエプソンの米国子

会社に、平成九年から四十年間は英国の子会社にそれぞれ出向し、豊富な海外経験を持つ。

セイコーエプソンを定年退職した十七年から、県テクノ財団のテクノコーディーネーターとして活躍し、十九年四月から事務局長を務めている。

井上会頭は「エプソンの現場で鍛えられ、グロ

ーバルな考えを持っている。松本市工業ビジョンの作成にかかわり、仕事を

起用の理由を述べた。松本商工会議所は今年四月、役職の定年制(理事は六十六歳、専務理事は六十九歳)を導入した。これに伴い、平成十

一年から九年間、専務理事を務めた松下倫省氏が三月末で退職し、以降は空席となっていた。

(柳 純二)